

西田幾多郎

◆ 哲学者 (1870~1945)

鞠小路通の方がヘビーユース。



「善の研究」などで知られる大哲学者・西田幾多郎が京大時代の後半約10年を過ごした家は、百万遍交差点から東大路通を北に400mほど上がった田中飛鳥井町にあった。その家は昭和49年に取り壊されて跡形もない。近所の人に聞いて回っても、意外と「え!?」といった反応が多い。哲学というのはやはり、人知れずひっそりと思案にふけてナンボのようだ。が、近くの表具師・笠井良千賀さんは大哲学者の記憶を留めていた。「本人を直接は知らへんけど、(彼)は(後の)家に猫が沢山いたのを覚えてます。60過ぎの私でもそのくらいいやから、面

外交官だった佐藤優が、「鈴木宗男事件」との関連で逮捕されたのは2002年。拘留所生活を経た後、衝撃作「国家の罫」を出版、そして今や最も凄みのある作家、思想家として論壇の顔になった。その鬼才・佐藤が、自らの思想の基礎を固めたのが同志社



同志社大学 (同志社記念館)



運そべったという話が自著に出てくる鴨川の川縁

佐藤優

◆ 起訴休職外務事務官・作家 (1960~)



鴨川べりの通学路と祇園。

その頃彼がよく出入りした店に深く関わったのだ。生運動の炎が残る京都が蘇る。佐藤も神学を学ぶ傍ら新左翼系の学生運動に深く関わったのだ。その頃彼がよく出入りした店に深く関わったのだ。生運動の炎が残る京都が蘇る。佐藤も神学を学ぶ傍ら新左翼系の学生運動に深く関わったのだ。

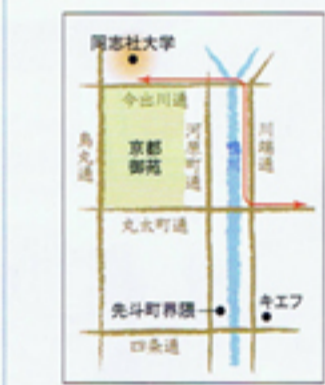


佐藤の京都時代は著書「私のマルクス」に詳しい

の後に「リラ亭」や「楽」(共に閉店)といったこの界隈の店に飲みに行きました」と言って、佐藤が好んだロシアのウオッカ「スタルカ」を見せられた。佐藤も京都を離れて久しいが、彼が今故つ言葉の底には、当時の京都が長い影を落とす。



佐藤優が愛したロシアのウオッカ「ウオッカ・パーナカニシ」で



同志社大学周辺の地図



鞠小路今出川の交差点



この道で社大思想の糸口をつかむ西田の姿を想像したくなる。



ここいまや名高い散歩道



西田邸があったらしい界隈



京大には約20年勤めた



産大は益川効果で沸く



静かな二軒茶屋駅前



その彼が週に何度か行くという某名曲喫茶が、出町柳駅動路なのかは判らない。

昨年10月、ノーベル物理学賞受賞の感想を「大してうれしくない」と話して茶の間を驚かせ、さらに翌日涙を見せ、愛嬌ある人間っぷりを披露した益川敏英は、北区の京都産業大学で教鞭を取る。

益川は左京区岩倉の自宅から叡山電車で産大に通う。二軒茶屋駅で降り、そこからは徒歩かチャトルバス。無人で田舎風の二軒茶屋駅から産大への道のりは、四季折々変化しそうなのかな風景に満ちていた。分刻みで決まった生活リズムを持つという益川にとって、ここが心地よい散歩道なのか、それともただの通勤路なのかは判らない。



二軒茶屋から産大に続く通勤路

益川敏英

◆ 理論物理学者 (1940~)



叡山電車と北山の自然。

あの人は、京都で何を感じたか? [番外編①]

この人たちの通勤・通学・練習路。

「ここは桂小五郎が新撰組を避けて幾松を訪ねた道なんだなあ」…京都を歩けば「ドラマ」に遭遇する。今回ご紹介する「通勤・通学・練習路」は小五郎〜幾松ほど色っぽくはないが、「使用頻度」が全然違う。この5人の偉大な足跡にあやかりたい人は、ぜひとも歩いていただきたい。

取材・文・写真 / 近藤雄生

野口みずき ◆ マラソン選手 (1978~)

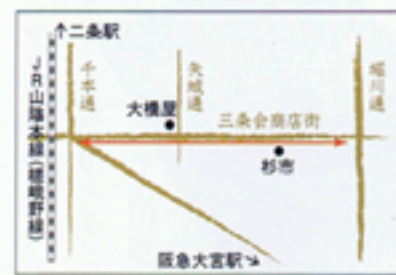
三条会商店街パワーで金奪回だ!



(上) 三条会商店街でのパレードの様子 (杉山さん所有写真) (右) 三条会商店街千本通側入り口

2004年に野口みずきが猛暑のアテネで優勝した光景はまだ記憶に新しい。その直後に、実は野口が雨天時に三条会商店街を練習コースに使っていたと報道で知ったとき、三条会の老舗仕出し屋(杉市)の杉山順一さんは驚いた。「全然知らなかったんですよ。それならって、ことごとくにイベントを考えました」。

金メダルから10日ほど後には商店街に横断幕が掲げられ、3ヵ月後には野口を人力車に乗せたパレードが、三条会による野口の応援が始まった。その商店街を野口が走る



三条会商店街の地図

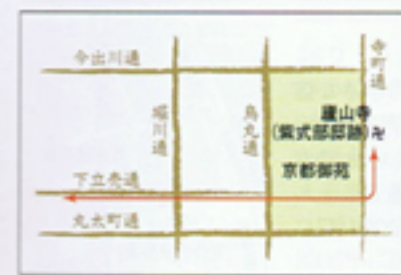


三条会の「天がら大橋屋」で大橋さんと

今や世界の大御所・紫式部が住んでいたとされるのは、御所の東、慶山寺のあたり。彼女は作家であるとともに「女房」だった。女房とは、朝廷などの高位の人に仕える女性使用人のこと。彼女が仕えた相手もさすがに大物で、藤原道長の娘であり、一条天皇の

詳しくは分かりませんが、慶山寺の辺りを基盤として彼女の生活は動いていたのではないかと推測します」と話すのは、慶山寺の観光案内もする同寺の主事・町田裕子さん。

とすれば紫式部は、内裏があったとされる現在の下立売通智恵光院西入の辺りから下



紫式部の居住地周辺の地図



下立売通から東山を望む

紫式部

◆ 作家・歌人 (生没年不詳)

下立売通でストーリーを練ったか?



下立売通には平安宮内裏跡の看板も立つ